

SDGs 未来都市・自治体SDGs モデル事業の

選定結果について

<市長コメント>

本年1月の「2020年度SDGs 未来都市及び自治体SDGs モデル事業」の公募に対しまして、先駆的な事業として2月26日付けで提案書を提出しておりましたが、本日選定結果が公表され、SDGs 未来都市及び自治体SDGs モデル事業に選定されました。

本年度のSDGs 未来都市につきましては、全国で33団体が選定され、東北では、本市を含めて4団体、県内では本市のほか、仙台市が選定されました。

自治体SDGs モデル事業につきましては、未来都市に選定された33団体の中から10団体が選定され、東北では本市のみが選定され、県内では初の選定となります。

選定された事業概要につきましては、提案全体のタイトルを「最大の被災地から未来都市石巻を目指して」、サブタイトルを「グリーンスローモビリティと「おたがいさま」で支え合う持続可能なまちづくり」と題し、人口減少・少子高齢化に伴う担い手不足や東日本大震災に起因したコミュニティ等の課題に

対し、環境保全に資する新産業創出による地域経済の活性化や未来技術を活用した新たな移動手段の構築、高齢者の孤立防止による地域コミュニティの活性化を図り、支え合いで築き上げる持続可能な地域社会の実現を目指すものでございます。

詳細につきましては、担当より説明いたしますが、自治体SDGsモデル事業をはじめ、SDGsの普及啓発に積極的に取り組むとともに、多くのステークホルダーと連携し、SDGsに対する取組を推進してまいります。